能登ヒバギター 第2弾

新たにアコギやジャズベース投入

島村楽器金沢フォーラス店 きょう、あす お披露目催し

地元木材の新たな需要創出につなげようと、楽器メーカーと共同で石川県の県木「能登ヒバ」を使ったギターを制作している、島村楽器金沢フォーラス店（金沢市）が、新たにアコースティックギターやジャズベースなど3種類を16日に発売する。16、17両日には同店で、ギタリスト有賀教平さんらが新作のギターを演奏するお披露目イベントがある。（高岡涼子）

能登ヒバを使ったアコースティックギター（左手前）とエレキギター（右2本）、ジャズベース＝金沢市で

昨年、数量限定で販売し人気を博した能登ヒバのエレキギター制作に続く第2弾。前回同様、木材卸売業のフルタニランバー（金沢市）が能登ヒバを提供し、木材を生かした楽器を手がけているディバイザー（長野県松本市）が制作した。

新たに販売するのはアコースティックギターとジャズベース、第1弾と別タイプのエレキギター。いずれも音を響かせる役割を担うボディーとネック部分に能登ヒバを使っている。

アコースティックギターは、側板と裏板に硬い広葉樹を用いることが多いが、軟らかい針葉樹のヒバを使用するため、圧縮の比率を研究するなどして強度を確保した。

ジャズベースは第1弾開発時から制作案が上がっていたが、太くて長い弦を支えるためにはネックの強度が足りず断念していた。圧縮材の試作を重ね、2年越しで完成させた。

エレキギターは第1弾では上級者向けで愛用者が多いJMタイプと呼ばれる形を発売したが、今回は若い人たちからも人気の高いTLタイプと呼ばれるボディーの形を採用した。

能登ヒバの切り出しなどの現場に立ち会ったという同店の越野正嗣店長は「林業従事者たちが手塩にかけた木材を使ったギターやベースを手に取った人たちに、その魅力を伝えていきたい」と力を込めた。

アコースティックギターは1本限定で62万1100円。エレキギター（23万6100円）とジャズベース（25万4800円）は2色あり、各色3本限定。

ふるさと納税 自販機で気軽にできる

小矢部のアウトレット 富山初登場

返礼品として食事券がもらえるふるさと納税の自動販売機＝小矢部市西中野の三井アウトレットパーク北陸小矢部で

富山県小矢部市の三井アウトレットパーク北陸小矢部（同市）に、ふるさと納税ができる自販機を県内で初めて設置し、市外からの来場者がアウトレットでの買い物をしてもらい、税収につなげる。15日から稼働する。

自販機は1台で、NFCエリアに設置。キャッシュレス式で、5万円の納税額まで、ジットカードなどで納税

北陸人気の握り アピール

金沢まいもん寿司 国会議事堂に「出店」

上 エムテンドケイが営業を国会議事堂の議員食堂
下 議員食堂で提供する海鮮ト「金澤」＝いずれも同

日本マスターズ 26年度誘致図る

知事表明

石川県議会 代表質問

石川県議会の9月定例会は15日再開し、自民の作野広昭議員が代表質問に立った。馳浩知事は日本スポーツ協会がシニア世代を対象に毎年秋に開催しているスポーツの祭典「日本スポーツマスターズ」の2026年度大会誘致を目指す意向を明らかにした。大会誘致が実現すれば15年以来。

健康志向の高まりを受け、日常的にスポーツに取り組むシニア世代が増えていることを受け、作野氏が提案した。

スポーツマスターズは県内で11年と15年に開かれ、いずれも県内13市町で13競技を実施し、県内外から約8千人が参加。馳知事は「宿泊、観光、地元との交流など地域活性化にも資する大会となった」と評価。3度目の開催に向け、「生涯スポーツを推進する上で大いに意義のあること。新幹線県内全線開業効果を県内に広く行き渡らせることにもつながる」とし、今後、日本スポーツ協会にも働きかけていく意向を示した。（田嶋豊）

成長戦略周知へ 冊子や動画作成

多言語対応

9月定例会に議案として提出した今後10年間の県政の方向性を示す「成長戦略」案に関し、馳知事は幅広い年代の石川県民らに内容を周知するため、多言語対応の概要版や電子ブック版、PR動画などを作成する考えを明らかにした。

馳知事は「県民に内容を分かりやすく伝え、理解していただくことは大変重要」と強調。成長戦略の冊子には索引や用語集を盛り込むなどし、「県民が気軽に内容に触れ、理解することができるよう工夫を凝らしていく」と述べた。

成長戦略の進捗状況や成果は毎年9月議会の各常任委員会で所管部局から報告することにしており、馳知事は「成長戦略を実行に移し、幸福度日本一の石川県の実現に向け、積極果敢に取り組む」と述べた。（田嶋豊）

ルビーロマン商標 海外3ヵ国で追加

計9カ国・地域に

石川県が開発した高級ブドウ「ルビーロマン」と同品種とみられるブドウが韓国で流通した問題を受け、海外で進める商標取得に関し、馳知事は新たにバーレーン、アラブ首長国連邦、インドネシアの3カ国で取得したことを明らかにした。既に取得済みの台湾、香港などを含め9カ国・地域となり、ほか数カ国においても取得に向けた審査が進められている。

馳知事は8月上旬の訪韓時に「ルビーロマン」と称して販売されているブドウを試食したことに関し「色が薄く、味は水っぽく、甘さも足りないと感じたところであり、このようなブドウがルビーロマンとして販売されることは極めて残念だ」と強調。「県内にはルビーロマンをはじめ、他にはない優れた特徴を有する農林水産物が数多くある。知的財産をしっかりと管理し、県産農林水産物のブランド保護を図ることが重要であると改めて感じた」と述べた。（田嶋豊）

「救急医療体制 強化取り組む」

県健康福祉部長

作野議員は救急車の到着後も搬送先が決まらない「救急搬送困難事案」を取り上げ、県の救急医療体制についてただした。

救急搬送困難は、医療機関への受け入れ要請を4回以上照会し、現場に30分以上滞在したケースで、消防庁が公表している。作野議員は北陸3県内で金沢が最も多い点を踏まえ、病床の地域偏在にも言及。「救急医療の機能を（金沢市外に）一部分散させ、拠点性機能を持たせる対応も検討すべきだ」とただした。

柚森直弘健康福祉部長は、重症以上の困難事案では「全国的に少ない状況にある」と説明。中小規模の医療機関も含め、幅広い医療機関が救急搬送を受け入れている金沢市に対し、富山市は規模の大きな公立・公的病院が大部分の救急搬送を受け入れていることなどが要因と考えられると分析した。

救急医療は高齢者人口の増加に伴い、今後も高齢者の搬送件数が増え、救急医療を担う医療機関のさらなる負担が見込まれることから「高齢者の救急患者を積極的に受け入れる医療機関を明確化するなど、県の特徴を踏まえつつ、市町や医師会、各医療機関などと連携を図り、救急医療体制の充実強化に取り組んでいく」と述べた。（田嶋豊）

堂故氏 国交副大臣 小森氏

第2次岸田再改造内閣の発足に伴う副大臣、政務官人事で15日、富山県内から国土交通副大臣（兼内閣府副大臣兼復興副大臣）に堂故茂参院議員（71）＝写真上、2期、富山選挙区＝、石川県から衆院石川1区の小森卓郎氏（53）＝同下、1期＝が総務政務官に起用された。いずれも自民。

堂故氏は、務所で「大変時に重い責任る。市長時代はよく行ったをしたいと思いい機会をい話した。16日ため富山県入

林正之氷見の誇りであり国土強靱化実市にとって心ント。課題で端、氷見両線

政治資金報告書 原本ネット公開

石川県選管決定

石川県選管は、2022年分の政治資金収支報告書から原本をインターネット上で公開することを決めた。これまでは要旨のみの掲載だった。

総務省は04年から原本をネットで公開し、都道府県選管にも積極的に検討するよう通知。県選管による事務量が不足は事務量が不開を見送って状況を確認し握できたため。

これまで、るためには県れるほか、料写しの交付を

ほくりく 経済 政治 総合